

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	基礎演習Ⅱ	1		
平成25年度以前	基礎演習Ⅱ	1		
教職	教科に関する科目(中学校及び高等学校)			言語
授業の到達目標及びテーマ この授業は、市役所や県庁など地方上級公務員をめざす学生のPクラス、警察官・消防官および自衛官など、市民と社会の安全を守る公務員をめざす学生のSクラスに分かれています。一般企業への就職や起業をめざす学生のEクラスは、法律一般・政治行政・経営法務・スポーツ福祉政策コースに分かれたクラス編成で、別のシラバスによる授業です。PクラスおよびSクラスは、それぞれ公務員採用試験を視野に、必要な知識や技能の伝達のための授業を行います。				共通
授業の概要 それぞれの担当教員の指示にしたがって、教員からの説明のほか、資料の講読、課題の発表と質疑応答、討論やレポート課題の作成と提出など、上記の目標に沿って授業が行われます。それぞれの進路に沿った採用試験の過年度の問題に取り組んだり、解放の説明なども行います。この授業は、すべてのクラスにおいて一年を通じて同一の教員が担当して、教員と学生、学生同士の情報の共有の場としての意義ももちます。基礎演習Ⅱは、スポーツイベントや大学祭への参加の団体となることもあります。				専門基礎
授業計画 春学期 それぞれの将来の目標を明確にし、その目標達成の道筋を自覚して自ら取り組む姿勢を養います。採用試験にかかわる基本的な情報を伝え、中長期の学習計画を立てる機会にします。授業時には、過去問集も用いて、求められている知識と技能の範囲とレベルを確認します。また、担当者の指示にしたがってそれらの問題に取り組み、実力を要請する場とします。このほか社会的事象への関心を高め、将来目標とする公務員にふさわしい総合的な実力を養成するための課題に、各個人およびグループでの作業などを通じて取り組んでもらいます。 秋学期 春学期に養成した、目標に向けて自ら取り組む姿勢をさらに高めるとともに、さまざまな分野の問題を解く能力を身につけ、社会科学分野での知識を得る機会とします。授業時間中に課題に取り組むばかりでなく、自主的に問題を解くことも求められます。得意領域についてはさらに能力を高めるとともに、不得意領域にも取り組むことを習慣づける期間とします。 【履修上の注意事項】 授業は毎回出席をとります。毎回の授業には積極的態度で参加し、課題に取り組むことが必要です。				法律一般
テキスト 授業時に指示します。				政治行政
参考書・参考資料等 配布資料のほか、授業時に指示します。				経営法務
学生に対する評価 授業への参加の状況、課題への取組姿勢、発表及び提出物によって評価します。				スポーツ福祉
				演習
				25年度以前
				演習科目